

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

1月の活動予定

1月5日(火) 第一例会

2月の活動予定

2月2日(火) 第一例会

会費納入について

今年度の会費未納の方は必ず、下記口座までお振込みください。

八十二銀行大門町支店

普通預金

山岳クラブホワイトバーチ長野

会員：6000円

会友：2000円

11・12月の活動報告

12月1日(火) 第一例会

11月29日(日) 大川入山

参加者:

中央アルプスの端にある大川入山に[白い羊]を見に行こう!と、恵那山の反対側にある里山へ。何とも謂れのありそうな治部坂峠からです。峠から少し入った所が登山口でした。水源タンクの脇を通過してジグザグ進むと、根が張り巡らされた急坂。いままでに無い根張りの坂で、足の置き所に気を使います。所々で木々の間から、白い山々が見えました。岩カガミ? 岩うちわ?と迷った群生は岩うちわでした。横岳までは岩うちわ、横岳から上は岩カガミだそうです。根っこが嫌になり始めた頃に横岳に到着。日当たり良く、ベンチもあり、休憩適地でした。ここからはアップダウンありましたが、尾根では景色も開けて眺め良くなり変化に富んでいました。山頂直下は笹原で、木々もほとんど無く、展望広がりつつ立ち止まり眺めました。あいにく、斜面に白い羊



はいませんでした。山頂からは、甲斐駒ヶ岳方面、中央アルプス等が雪化粧。遠く、濃尾平野、鈴鹿山脈、伊勢湾などが見えました。勧められるまま、少し北側まで進んで、恵那山、御嶽山、北アルプス。南アルプスも見えて、羊さんには会えませんでした。とても展望の良い山でした。()



長野 5:00—治部坂 7:35—横岳 9:01—山頂 10:59/11:48—横岳 13:17—峠 14:11

12月13日(日) 谷急山

天気:晴れ

参加者:

谷急山に興味を持ったのは、1年前に丁須の頭の山行で裏妙義山を初めて登り、妙義も結構登れるかもと感じたからです。谷急山は妙義山群の最高峰であること。山容は妙義の中にあって円錐形をしておりゴツゴツしていないので登りやすのではと安易に考えたこと。谷急山は「里山の延長だよ」と口々に仰るので。今回のコースは、旧裏妙義国民宿舎の登山口から巡視道コースで三方境から山頂を目指します。川沿いの杉林を進み残る紅葉、巨岩の谷を周り徐々に高度を上げ三方境に到着。三方境から女道分岐までは広い尾根道ですが、その先はアップダウンが始まり、やせ尾根・岩場が連続し木の根を掴みながらの登山です。ロープ・鎖も設置が十分ではなく慎重に進みます。最後のピークを通過すると多少尾根が広くなり山頂まではストレート。山頂は数人が座れる広さがあり展望もよく、遠方には浅間山連峰が近くには妙義山群が手に取るように見えます。さらに遠くの上越県境の山々は雪で真っ白です。晴れてはいます



が今日は冬型の天気であること、登り以上に慎重に丁寧に下山しなければとの気持ちもあり予定より早めに山頂を離れました。三方境まで降りてくれば一安心。12月と言うこともあってか3人の登山者しか会わない静かな山行でした。
()



長野 (5:00) 裏妙義国民宿舎 (着 6:15) 登山口 (7:00)
三方境 (8:45) 山頂 (着 10:15) (発 10:55) 三方境
(12:20) 国民宿舎 (着 13:40)

12月20日(日) 戸隠山

天 候:曇小雪のち晴れ間
参加者:

今冬一番の寒波が襲来し厳しい寒さと雪で新潟では交通網が大変な状況となっていた。戸隠方面はどんな様子か心配しつつ迎えた山行当日。朝の積雪はさほど多くはなく中曽根あたりで連なって作業している除雪車と出会った。奥社駐車場は除雪されておらず、トイレ前の空きスペースをスコップで3台分確保した。奥社までの参道は宮司さんが通ったのかトレースの痕跡があった。深閑とした奥社神社、薪の匂いがほのかにした。
“わかん”を着けてラッセル開始。フカフカの雪、足を降ろせば舞い上がる程だ。疲れないうちに「交代を」との言に安心する。順番が来て懸命にラッセルするも遅々として進まず、雪の壁を崩すと蟻地獄に落ちる様に沈み足が抜けない。吹き溜まりは背丈を越し雪洞を掘る様だ。
しばらく進み右側斜面に、こちらを眺めている動物発見。人



間と同じく彼も大雪に相当困っているらしい。行きつ戻りつ苦戦の様子。「あれはカモシカか?」、「いやいや熊かもしれない」、「顔はカモシカだ」、「後姿は熊に違いない」と様々な声、「先に行って待っていられたら困るね」等心配しているうち姿が見えなくなった。順番のラッセルを黙々とこなす。五十軒長屋迄は遠い道のりだ。
後半、タイムリミットがせまる頃、神保信さんの長いラッセルが始まった。ザックを投げ出し急登を進む。二つのザックを背負った敦子さんからも感嘆の声が!

後続の我々は感謝のみ! Pm1時のタイムリミットを2時にしてもたどり着けず、集合写真を撮って下山開始。この頃から青空が広がり荘厳な戸隠山の壁を見る事が出来た。時々尻セードをしながら、たった35分で奥社神社着。6時間もラッセルしたのに...頼もしい 夫妻の参加を得て、何の心配もなく令和2年のファイナル会山行を無事に終了することが出来た。()



ループ橋 6:05—奥社 P 6:45/7:04—隋神門 8:04—奥社神社
8:40—下山開始 14:10—奥社神社 14:45—奥社 P 15:30